取扱説明書

HATSUTA 蓄圧式 圧力計付 粉末消火器

国家検定合格品

粉末〈ABC〉消火器 該当器種 ●ストップ付 **KLDシリーズ 3型・4型・6型・10型**
KLD-3にはホースが付いていません。

写真は
KLD-6です。

このたびは、ハツタ消火器をお買い求めいただきまことにありがとうございました。ご設置、使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい設置、正しい使い方をしてください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

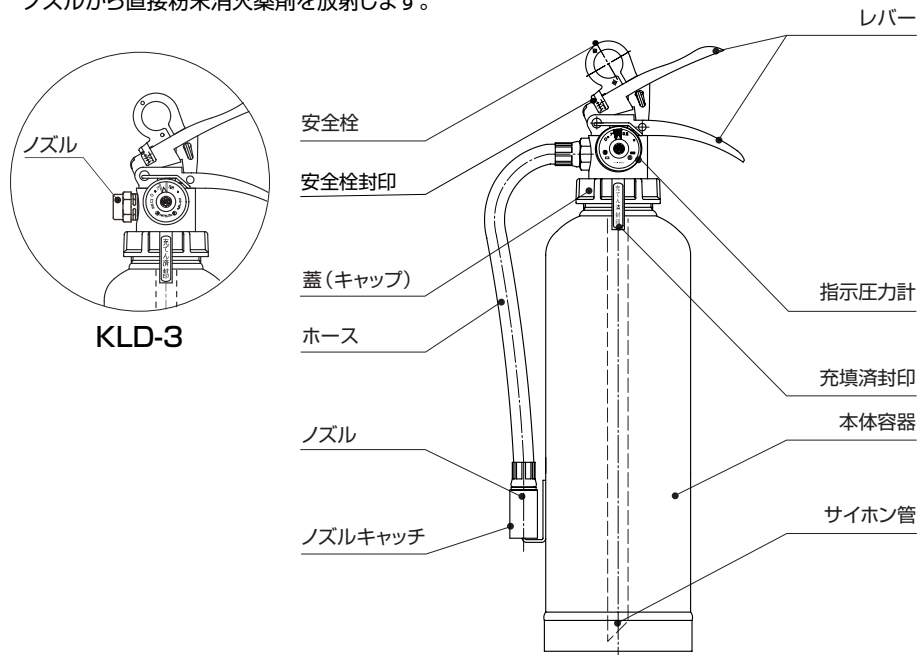
株式会社 初田製作所

消火器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

●取扱説明書では、ご使用上の注意内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を「危険」「警告」「注意」で表示しています。

⚠危険	取扱い上容器が破裂し重大な人身事故が発生し、「死亡または重傷などを負う切迫した危険状況を示す」内容です。
⚠警告	設置上及び使用上「死亡または重傷などを負う潜在的な危険状況を示す」内容です。
⚠注意	設置上及び使用上「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

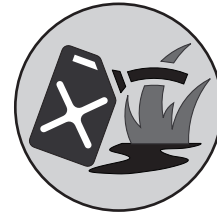
各部のなまえ・構造図

●圧力計付粉末消火器は全てストップ付です。
※KLD-3はホースが付いていません。
ノズルから直接粉末消火薬剤を放射します。

構造図はKLD-4・6・10（ストップ付タイプ）

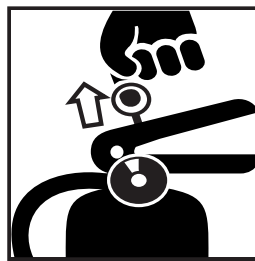
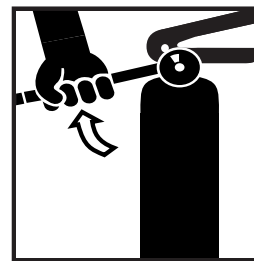
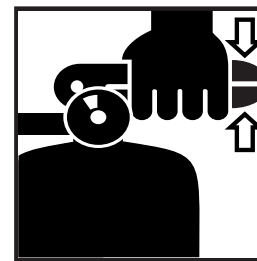
ストップ付は、一度放射させても上レバーから手を離すと放射を途中で一時的に止めることができ有効放射が行えます。
放射動作を行い、ストップした消火器の内部圧力は時間の経過と共に下がり、圧力保持はできません。

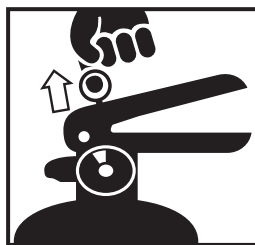
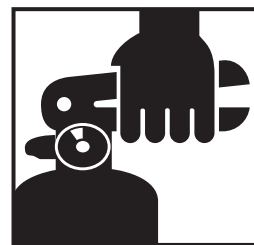
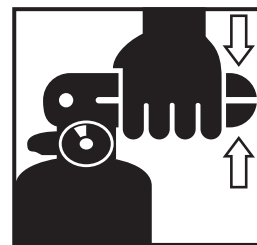
●消火器には適応火災と消火能力単位が表示されています。
適応火災はその種の火災に適していることを意味し、消火能力単位は規格基準に基づく消火単位を表示しているもので、これをもって実火災における消火規模を限定することはできません。
●消火器はあくまで初期消火に威力を発揮しますが、火災規模、状況等により、どんな火災でも消火できるとは限りません。そのため、正しい使用方法に基づいて消火器を使用したにも拘らず消火できなかったことによる人的、物的損害についての賠償の責はご容赦願います。

適応火災

この消火器は普通・油・電気火災に適応します。消火器本体容器のラベルに表示しています。
消火器には、適応火災を示す色マークが付いています。お求めの消火器が設置場所の予想される火災の消火に適した性能のものであるかご確認ください。

普通火災用
油火災用
電気火災用
使用方法

消火器本体容器のラベルに表示しています。

❶上レバーの黄色の安全栓を上方向に引き抜く。
❷ホースをはずし、ノズルを火元に向ける。
❸上下レバーを強く握り、火元を手前からはくようにして放射する。

①安全栓を引き抜く。 PULL

②ホースをはずし火元に向ける。 AIM

③レバーを強くにぎる。 SQUEEZE

※KLD-3のみ

①安全栓を引き抜く。 PULL

②ノズルを火元に向ける。 AIM

③レバーを強くにぎる。 SQUEEZE

廃棄消火器の回収・リサイクルについて

※回収、廃棄の際は専門業者又は以下の電話番号にお問い合せしてください。
※なお回収、廃棄処理には、費用がかかりますので有料処理となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

回収・リサイクル相談窓口　お問い合せ・ご相談は フリーダイヤルでどうぞ　0120-82-2306
電話受付時間 10:00～12:00, 13:00～17:00（土・日・祝日を除く）
http://ferecycle.jp

放射後の健康被害防止の為の注意事項

■ 粉末消火薬剤は消火を目的とし、安全性が高く身体への影響は軽微です。
■ 通常の使用により薬剤を吸引した場合、眼・鼻・喉に違和感を生じることがあります。
■ 消火薬剤の清掃には十分な換気の元で、吸引及び眼・皮膚等に付着しないようマスク等の保護具を着用してください。
■ 万一身体に異常を感じる場合は、医師の診断を受けてください。

図面のダウンロードはこちら
http://www.hatsuta.co.jp/abc

製造元 株式会社 初田製作所
本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
http://www.hatsuta.co.jp

アフターサービスについて

開発営業部　住宅防災室
TEL 03-5471-7415　FAX 03-5471-7633
受付時間 10:00～12:00, 13:00～17:00（土・日・祝日を除く）

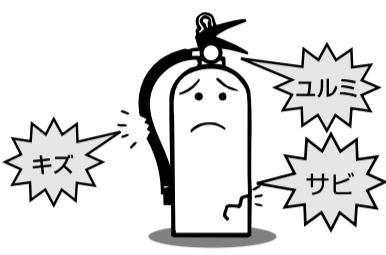
取説158-1310

必ずお守りください

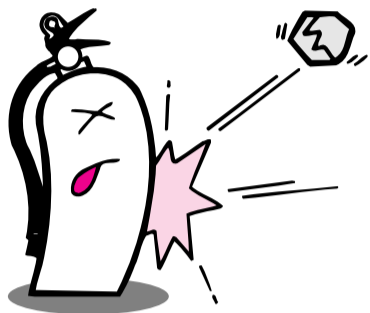
⚠危険

消火器本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。該当する消火器は絶対に使用しないでください。また、取扱いは十分ご注意ください。

1.サビ・傷・変形・キャップ及び部品のゆるみ、脱落のあるものは絶対に使用しないでください。

設計標準使用期限（10年）以内の消火器でも該当するものは、使用しないでください。

2.分解しないでください。

3.消火器は圧力容器です。消火器に強い衝撃を与えないでください。

本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。

※消火器を廃棄される場合は必ず回収・リサイクル相談窓口にご相談ください。

⚠警告

1.腐食し易い場所、湿気の多い場所、潮風や風雨にさらされる場所に設置しないでください。

2.濡れた床や地面に直接置かないでください。

3.使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。

4.絶対に人に向けて放射しないでください。

呼吸困難や危害発生を招く恐れがあります。

5.火元から3m以上離れてから放射を開始してください。

6.避難経路を確保しながら消火してください。

7.設計上の標準使用期限（10年）を超えて使用すると、経年変化によりけがなどの事故になる恐れがあります。

8.製造年から10年を過ぎたものは、法で定めた水圧検査を実施してください。

本体容器の破裂により人身事故発生の恐れがあります。

9.6ヶ月ごとに法令で定められた点検を実施してください。

10.消火器の清掃は、水洗いや有機溶剤（ガソリン、ベンジン、シンナー等）及び中性洗剤を使用しないでください。

サビ、ホースの変質、消火薬剤の吸湿の原因になります。
乾いた布等による清掃をおすすめします。

※ご家庭に設置されている消火器については点検の義務はありませんが、安全にご使用頂くためにも **設置上の注意4** について定期的に確認することをおすすめします。

注意

消火器を専用ブラケットに取付ける際には、消火器が確実に固定されていることを確認ください。バンド付きのブラケットは、止め金を最後まで確実にセットしてください。

設置上の注意

1.水気の多い場所への設置は避けてください。

湿気の多い場所、水しぶきのかかる場所、直射日光の当たる場所、風雨にさらされる屋外には設置しないでください。消火器本体にキズ、サビ等が発生する原因になります。そのような場所に設置される場合は、壁掛金具、設置台、格納箱での収納をおすすめします。

2.通行又は避難に支障がなく、1.5m以下で目につきやすくすぐに持ち出せる場所に設置してください。

3.地震や振動で消火器が転倒・落下しないように設置してください。

4.3ヶ月に一度外観を観察してください。

異常を発見した場合は、速やかに販売店もしくは製造元に連絡し、整備等の処置をしてください。

KLD-3にはホースが付いていません。

5.この消火器は業務用消火器です。

一般家庭にも設置は可能です。

6.自動車には設置できません。部品等の脱落の恐れがあります。

7.消火器を移動させる際は黄色い安全栓に指をかけず下側のレバーを持ってください。

使用上の注意

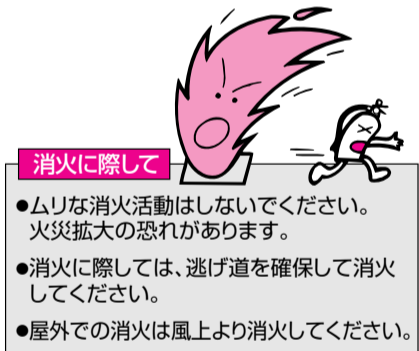
1.適応火災は消火器本体のラベル表示と、この取扱説明書を確認ください。

（燃焼物によっては適・不適があります。）

2.消火器は初期消火をする器具です。消火範囲には限度があります。

火災の大きさ、消火開始の時期、適応火災の条件により消火できない場合があります。

消火に際して

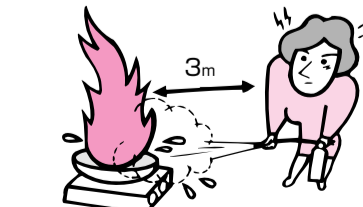
- ●ムリな消火活動はしないでください。火災拡大の恐れがあります。
- ●消火に際しては、逃げ道を確保して消火してください。
- ●屋外での消火は風上より消火してください。

3.ためし放射をしないでください。

そのまま放置すると使用できなくなります。

4.正しい使用方法で消火してください。

消火器本体容器のラベルに表示している使用方法に従って消火してください。

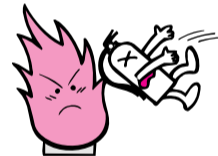
5.消火の際、火に近付き過ぎないようにしてください。

とくに天ぷら油火災の場合、油の飛散や、炎の吹き返しにより火傷等の恐れがあります。消火開始時には、3m程度の距離を保ち、炎がおさまるにつれて接近してください。

また再燃を防ぐために消火薬剤は最後まで出し切ってください。

6.ホースはしっかり握って消火してください。

ホースを手放すと放射方向が定まらず消火ができなくなります。

7.消火器は絶対に火中に投げ込まないでください。

消火器が破裂するなど大変危険です。正しい使用方法で消火してください。

8.放射時には本体を垂直にして使用してください。

斜めにすると放射の状態が悪くなります。
絶対に逆さにして使用しないでください。

9.恐しい火災発生時のガス。

火災による発生ガスは人体に有害です。換気の悪い狭い部屋での消火は注意してください。

10.粉末消火薬剤は大量に吸わないでください。

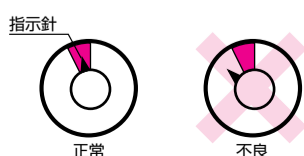
粉末消火薬剤は人体に対して毒性はありませんが、大量に吸い込むと、呼吸困難をおこす場合があります。

11.ホース、ノズルにキレツのあるもの、ノズルが離脱しているものは使用しないでください。

12.黄色い安全栓の付いていない消火器は使用済です。

速やかに新しい消火器に交換してください。

13.ときどき圧力計を見てください。

圧力計の指示針が緑色ゾーンを指していれば正常です。不良の時は、速やかに販売店へご相談ください。

使用後の注意

1.ガスが関連した火災ではガスの元栓を必ず締めてください。

2.消火薬剤が身体にかかったり、目に入った場合。

●身体にかかった場合

水洗い等をして十分洗浄してください。

●目に入った場合

速やかに水洗いし、充血、目の痛みを感じたら医師の診察を受けてください。

3.消火薬剤のかかった食物は食べないでください。

4.飛散した消火薬剤は速やかに清掃してください。

（放置しておくとカビの発生、金属類の腐食、電気絶縁の低下の原因となります）
清掃の際は十分に換気を行い、ほうきや乾いた雑巾を使って消火薬剤をかき集めてください。
消火薬剤は一般廃棄物として処分してください。
掃除機を使うと故障の原因になります。

5.使用済の消火器は絶対に分解しないでください。

6.一度使った消火器は速やかに新しい消火器に交換してください。